

拠出金名：米州機構(OAS)を通じた無償資金協力

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				16,344千円	
国際機関等名	米州機構 (英文名称・略称) Organization of American States (OAS)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省中南米局中米カリブ課、国際協力局無償資金・技術協力課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	円建て分 (千円)	レート	ODA率(%)
平成19年度(注1)	16,344	-	-	円建て	100
平成18年度(注2)	13,320	100	2,220	1米ドル = 111円	100
平成17年度(注3)	9,871	92	-	1米ドル = 107円	100
当該拠出金の目的・用途等		選挙監視支援			
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの)				国際機関等の財政 (2007年度決算)	
	国名	金額 (千米ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入 259,909千米ドル	
1位	米国	63,150	41.9	当該年度の支出 161,912千米ドル	
2位	カナダ	21,452	14.2	次年度への繰越 97,997千米ドル	
3位	ブラジル	10,670	7.1	会計検査機関名	
4位	スペイン	9,123	6.0	Inspector General(内部監査)	
5位	メキシコ	8,354	5.5	Board of External Auditors(外部監査)	
(備考)日本:41位(民間企業も含む順位) 141千ドル 0.1%				(現在の構成員の出身国:米国、カナダ、バハマ)	
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>米州機構(OAS)は、米州における民主化進展、政治的安定を図る機関であり、中南米各国の選挙に監視団を派遣する等、域内における民主化促進等に多大な貢献をしている。我が国は73年に常任オブザーバー資格を取得して以来、OASと緊密な関係を保っており、毎年開催されるOAS年次総会や隔週で行われる常設理事会にはオブザーバーとして参加している。特に中南米諸国における選挙監視には実績と経験があることから、我が国もOASの選挙監視団支援を通じた各国の民主主義定着支援を重視している。</p>					
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>					
<p>1970年には2000名を超えていた職員は、業務の合理化により、現時点では700名あまりまで削減されている。組織の透明性を高めるために法務部門担当の局長ポスト、及び、オブザーバー国や他の国際機関・NGO等との関係強化のために対外関係担当の局長ポストを設置。資料・スケジュール等のインターネットを利用した電子配布等によりコスト削減にも取り組んでいる。</p>					
邦人職員数 うち幹部以上	0人 うち 0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		711人 0%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
なし					
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
特になし					

(注1)対グアテマラ「大統領選挙監視に対する支援計画」に対する草の根・人間安全保障無償資金協力約996万円、対コロンビア「米州機構総選挙監視活動支援計画」に対する草の根・人間安全保障無償資金協力638万円。

(注2)ニカラグア選挙プロセスに対する緊急無償資金協力10万ドル、対エクアドル「選挙プロセス支援計画」に対する草の根・人間の安全保障無償資金協力222万ドル。

(注3)ペルー大統領選挙・国会議員選挙の公正かつ円滑な実施への支援約9万ドル。